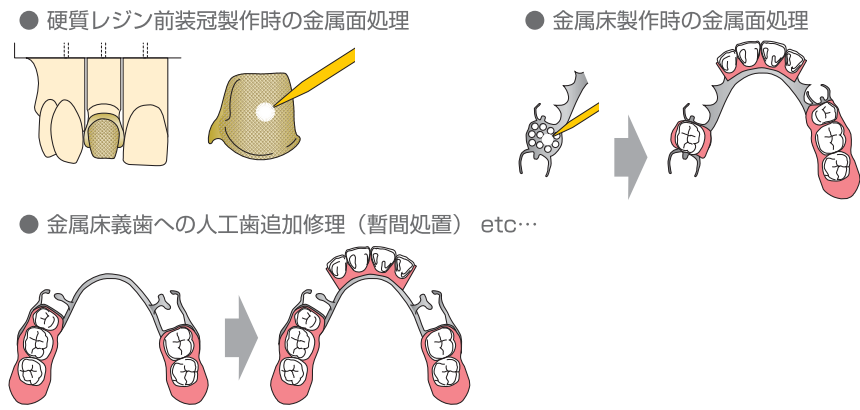


■ 使用例

メタルリンク



セラレジンボンド



- 人工歯咬合面のリモール
- レジン歯のキャラクターゼーション etc...



特長3 高い接着強度と接着耐久性

歯科用金属、ポーセレン、硬質レジン、コンポジットレジン、常温重合レジン硬化物等に対する高い接着強度と優れた接着耐久性

<メタルリンク>



<セラレジンボンド>



セミプレシャスゴールドと歯冠用硬質レジンとの接着 (MPa)

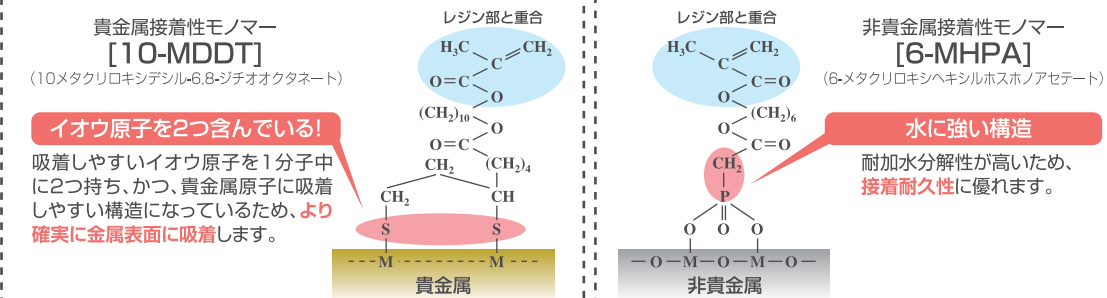
	37℃24時間	サーマルサイクル2000回後
メタルリンク	12.6	10.2
スズ電析	10.5	6.9

セラレジンボンド使用時の各種被着体とコンポジットレジンとの引張接着強度 (MPa) (サーマルサイクル2000回後)

セラレジンボンド	被着体との接着 (MPa)	強度 (MPa)
ボンド I & ボンド II	陶材との接着 (ヴィンテージハロー)	10.7
	硬質レジンとの接着 (ソリテックス)	9.8
	PMMAとの接着 (NCベラシアネック部)	7.2

ONE POINT メタルリンクの接着力が高いワケ

貴金属接着性モノマー[10-MDDT]と非貴金属接着性モノマー[6-MHPA]によりあらゆる歯科用金属と強固に接着します。



販売名・一般名称

販売名	一般名称	承認・認証・届出番号	販売名	一般名称	承認・認証・届出番号
メタルリンク	歯科金属用接着材料	管理医療機器 医療機器認証番号 21400BZZ00224000	PRUペアキット	歯科金属用接着材料	管理医療機器 医療機器認証番号 21500BZZ00484000
セラレジンボンド	歯科セラミックス用接着材料	管理医療機器 医療機器認証番号 21400BZZ00188000			

包装・価格



メタルリンク 5mL



セラレジンボンド セット

【内容】セラレジンボンド ボンドI 6mL、セラレジンボンド ボンドII 5mL、付属品一式
【単品】セラレジンボンド ボンドI 6mL、セラレジンボンド ボンドII 5mL



PRUペアキット

【内容】メタルリンク 5mL、セラレジンボンド ボンドI 6mL、セラレジンボンド ボンドII 5mL、付属品一式

関連製品



歯科技工用光重合器(光源:ハロゲンランプ) アクセルキュア 一式



歯科技工用光重合器(光源:メタルハライドランプ) ソリディライトV 一式
松風サブライトV 一式



歯冠用硬質レジン ソリテックス ハーデューラ スタンダードセット 一式



ハイブリッドタイプ歯冠用硬質レジン セラマージュ システム スタンダードセット 一式



CAD/CAM用ガラスファイバー強化型レジンディスク(フレーム用) トリニア
φ98×15mm
φ98×15mm

ご使用の際は取扱説明書をよく読んでお使いください。

取扱い商店名

歯科技工所様向け



メタルリンク & セラレジンボンド

For Dental Technicians

補綴装置製作および補修全般に使用できる
便利な接着システムです。
金属、セラミックス、レジンを選びません!!



M.L. Primer & CERARESIN BOND

対象金属を選ばない金属接着性プライマー「メタルリンク」とセラミックス・レジン接着用ボンディング材「セラレジンボンド」の組み合わせで、補綴装置製作および補修全般に使用可能[※]です。

[※]但し、術式に応じて使用する歯冠用硬質レジンペーストや床用樹脂等が別途必要です。



**金属とレジン材料を接着
メタルリンク**

歯科用金属^{*}とレジン材料の接着にご使用いただけます。

^{*}純金属、貴金属合金、非貴金属合金

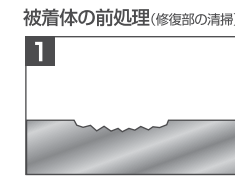


**セラミックス、レジン硬化物とレジン材料を接着
セラレジンボンド**

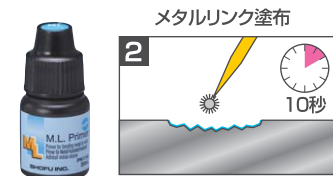
ポーセレン、硬質レジン、硬質レジン歯、アクリルレジン歯、陶歯、レジン床、常温重合レジン硬化物等とレジン材料の接着にご使用いただけます。

特長1 操作時間が短く、簡単な術式

メタルリンク



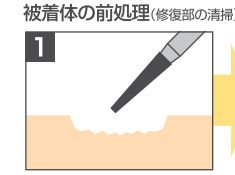
被着面を粗造にし、水洗・乾燥してください。



メタルリンク塗布

10秒

セラレジンボンド



被着面を粗造にし、水洗・乾燥してください。



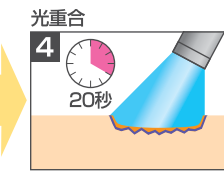
ボンドIの塗布

10秒



ボンドIIの塗布

10秒



光重合

20秒

可視光線照射器で20秒間光重合

それぞれの用途に応じてレジン材料を使用してください

特長2 接着部に褐線が出にくい（セラレジンボンド）

- 塗布層が薄い（べたつかず、薄く均一に広がる）
- 接着力が高い

接着部に褐線が出にくいため、高い審美性を有する修復および製作が可能

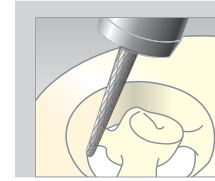
症例 1

CAD/CAM用グラスファイバー強化型レジンディスク トリニアへの使用

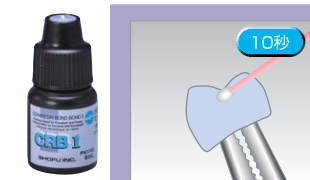


トリニアはフレーム材として使用します。

トリニアの加工後、松風技工用カーバイドバー等を用いてフレームの取り出し・調整を行います。調整後、アルミナサンドブラスト(0.1-0.2MPa)処理を行い、スチーム洗浄・乾燥します。



セラレジンボンドIを塗布し、10秒間放置します。



セラレジンボンドIIを塗布し、10秒間放置します。

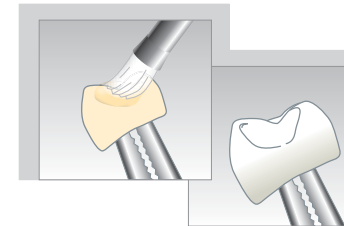


技工用光重合器で3分間^{*}光照射します。^{*}ソリテライトV（ハロゲンランプ）使用時



ハイブリッドタイプ歯冠用硬質レジン(セラマージュなど)をフルカバレッジで築盛します。

【注意】加熱重合を伴う材料を併用しないでください。



症例 2

写真提供/浅野デンタルアート 浅野 正司 先生

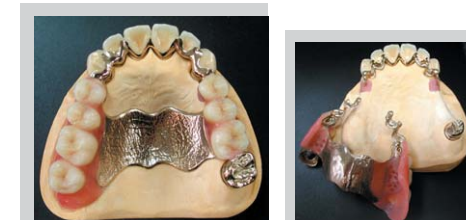
● 硬質レジン前装冠製作時の金属面処理
ソリデックスによる修復に応用



症例 3

写真提供/Dental Labor Gross 大畠 一成 先生

● 金属床製作時の金属面処理
コンビネーション・パーシャルデンチャーへの応用



症例 4

● 金属床義歯への人工歯追加修理（義歯を作りかえるまでの暫間処置）

金属床の人工歯追加部分へ必ずサンドブラスト処理を行い、水洗・乾燥し、金属表面の清掃を十分行います。旧義歯の金属面は、サンドブラスト処理の前にダイヤモンドポイント（レギュラー）等で新しい面を出して下さい。



メタルリンクを採取し、金属床（リンガルバー）に均一に塗布します。エアーによる揮発成分の蒸散は不要です。



■ 接着を必要としない金属表面には、ワセリン等を塗布することにより接着を防ぐことができます。

常温重合レジン(プロビナイス等)を用いて人工歯を追加します。(症例により金属補強を行う場合もあります)



修理された義歯



写真提供/コアデンタル・サトウ 佐藤 友彦 先生

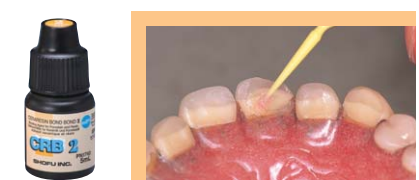
症例 5

● 人工歯切端部の破折修復

人工歯の破折した面をサンドブラストにより粗造化し、洗浄した後セラレジンボンド ボンドIを塗布し、約10秒間自然乾燥します。



セラレジンボンド ボンドIIを塗布し、約10秒間自然乾燥後、可視光線照射器にて20秒間光照射します。



通法に従い、コンポジットレジン（ソリデックスFなど）で修復します。（接着部が目立たない審美的な修復）



ONE POINT 金属部が露出している場合は、（硬質レジン前装冠やメタルセラミッククラウンの破折等）金属面に「メタルリンク」を塗布し、10秒間放置後、オベーカーで金属面を遮蔽してください。

